

様式第2号(第7条関係)

会議結果報告書

令和7年4月10日

会議の名称	令和6年度 第1回加佐地域福祉センター由良川学園運営会議	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年7月30日(火) 14時~15時50分	
開催場所	舞鶴市加佐地域福祉センター(由良川学園) 2階会議室	
出席者	9名(委員5名、事務局4名)	
議題	<ul style="list-style-type: none">(1) 委員長・副委員長の選出(2) 令和5年度の利用状況について(3) 由良川学園の運営について(4) その他	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 [理由]	
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙会議録のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市 福祉部 高齢者支援課 TEL (0773) 66-1013
-----	--------------------------------------

令和6年度 加佐地域福祉センター（由良川学園）運営会議 会議録

1 日 時 令和6年7月30日（火） 14時00分～15時50分
2 場 所 加佐地域福祉センター（由良川学園）2階会議室
3 出席者
運営委員 加佐元気サロン 内海 志伸委員
" 今西 幸雄委員
ゲートボール実行委員会 今西 清 委員
" 永野ふさ子委員
由良川民生児童委員協議会 塩田 妙子委員
事務局 福祉部長 岸本
福祉部次長 日紫喜
加佐地域福祉センター所長 半林
由良川学園 澄谷

4 内 容

- (1) 所長により 開会 14時00分
会議の進行を担う委員長（議長）が決定するまで、事務局が進行を行いう旨、説明。
- (2) 福祉部長 挨拶
- (3) 委員及び事務局自己紹介
各委員に対し、委員受諾のお礼。
各委員順次自己紹介の後、事務局自己紹介
- (4) 議事第1号 委員長、副委員長の選出
由良川学園運営会議要綱により、委員長、副委員長の選出は互選となることから、各委員に諮ったが意見がなく、「事務局一任」の声を受け、事務局が委員長（議長）の内海委員を副委員長に今西（清）委員を指名し全員の承諾を得た。
以降の議事進行を内海委員長（議長）に引き継ぐ。
- (5) 議事第2号 令和5年度の利用状況
(事務局) 資料2-1、2-2により、令和5年度の利用状況について説明を行った。令和2年度には8千人台であった利用者数も徐々に回復し、今年度は1万人を越える見込み。

(事務局) 資料2-3で利用サークル(グループ)の紹介をした。

殆どが当地域の利用であるが、使用料が無料であることから地域外の利用サークル(グループ)もある。

(事務局) 資料2-4で由良川学園の事業であるゲートボール教室の実績を説明した。5年度会員27名 延べ参加数453人

(6) 議事第3号 由良川学園の運営について

(事務局) 資料3に基づき、舞鶴市福祉センター条例における「事業」の説明と令和6年度由良川学園の事業について説明を行った。以前には、ゲートボール教室の他に囲碁や将棋教室、編物教室等も行っていたが、災害を契機として取り止めたものや参加者の高齢化により継続が困難になり現在は実施していない。今後、由良川学園として相応しいものがあれば事業として実施したいと考えている。ご意見や良いアイデア等お聞かせ願いたい。

また、加佐老人クラブ連合会が行っていた団体研修会については、加佐老連が舞老連脱退と同時に解散となり研修会も主催者がなくなる事態となり以後実施できていない。

加佐老連の後継組織として加佐元気サロンが設立されたが、コロナによりここ2,3年は目立った活動は行っていない。

(委員長) 加佐元気サロンについては、何か活動をということで昨年地域の主だった者で協議を行い、団体研修バス旅行を実施した。23名の参加だった(会員は約90名)が、なんとか形になった。(加佐公民館の「いきいきセミナー」の一環?)今後も取り組んでいきたい。

(事務局) 由良川学園として、施設を有効に使用していただき特色ある事業を展開したいと考えており、「地域福祉センター条例」にも謳つてあるようにボランティア活動を支援する事業として何かできないか模索している。事業の判断は加佐公民館との兼ね合いもあり難しいが、地域に役立つ施設として何が必要なのか考えていきたい。

(今西幸雄委員) この地域では、ボランティア意識風土が薄いと思う。昔から字の事はすべてボランティア的にやってきた。

(委員長) 由良川学園に限らず施設を利用するにはこの地域では足が必要になる。高齢者になると運転が心配となり個人の自動車に乗り合わせて通うのが敬遠される。

家族の者も避ける傾向があり、結果どうしても「止めとこか」になる。加佐地域にはこの問題が大きい。

(永野委員) 以前は、各地域でゲートボール場を作り、その地域で活動をしていたが、今はやる人がいなくなり残った者で後じまいの心配をしなければならない状況になっている。
ほかにも地域で民謡や踊りなんかもやったものだ。

(7) その他

(今西清委員) ゲートボール教室も前は60人ほど会員がいたが現在は23人と減っている。多いときはゲートボール場2面でやっていたが今は1面しか使っていない。利用していないコートの管理(除草等)が大変である。また要望として、コートに屋根があったら有難い、なんとかならないか。

大川橋の高架下にはコートが整備できないか。

(部長) 極めて難しい問題だが、一応お聞きしておく。

(塩田委員) 民生委員の立場から、私の神崎地区でも高齢者の多くが独り住まいであり、問題を抱えている。ゲートボールに限らず地域の行事等に半分強引になる位誘い合わせて参加して欲しいと思っている。

※ 議事終了により内海委員長降壇

(8) 閉会(所長)

長時間にわたり貴重なご意見をいただいた。

由良川学園の今後の運営の参考にさせていただく。

本日はありがとうございました。

15時50分 終了